

1人1台端末 まずは使うことを「目的」に

もり なお き
森 尚生 青森県弘前市中教研英語部会長・青森県弘前市立東目屋中学校 校長

弘前市は、平成25年から指導者用デジタル教科書を各校に配布し、授業で使用してきました。令和3年3月には、全生徒へのChromebookの配布も完了しています。英語の授業ではICT機器が早くから使われていたので、1人1台端末の活用も、他教科に比べるとスムーズに進んでいるのではないかと感じています。

1人1台端末の活用事例

市内の英語教員による四つの実践事例を紹介します。

事例1 ロイロノート・スクールで英作文

課題の英作文をロイロノートで提出させる。提出された英作文を教師が選んで拡大提示し、生徒に発表させる。提出状況が一目でスクリーンに映し出されるので、生徒が授業に積極的に参加できるようになること、また、提出した生徒が自分の間違いに気づきやすいことがメリットとなる。なかには提出後に手直しして、再度提出する生徒もいる。



ロイロノートで提出した英作文をスクリーンで共有。

事例2 Googleドキュメントと

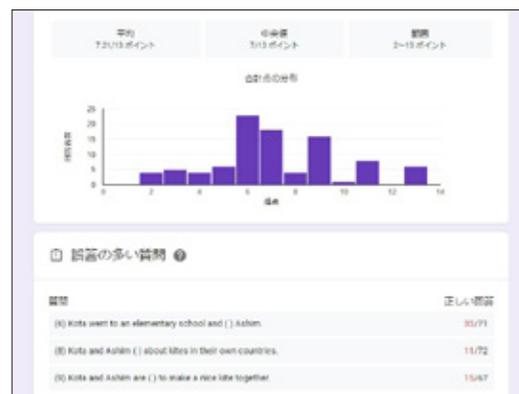
Google Classroomで英語レポート作成

Googleドキュメントで作成したレポートなどの課題をGoogle Classroom上で提出させる。写真などが簡単に添付できるので、よりわかりやすいレポートに仕上げることができる。また、紙媒体同様に添削して返却できるだけでなく、返却後も、教師がパソコン上でレポートを確認できるので、評価にも使いやすい。

事例3 Googleフォームを利用した

学習のまとめや確認テスト

Googleフォームを利用して、単語テスト、UnitやPartごとのまとめ、文法の確認テストを行う。課題は4択や記述式などを組み合わせて作成できる。Googleフォームは集計に手間がかからず、平均値や間違いが多かった問題などを確認することもできるので、テスト後の指導にも役立つ。



テスト結果の集計画面。
点数分布のグラフや誤答の多い問題などが自動表示される。

事例4 Chromebookで音読練習

教科書にあるQRコードを活用し、ヘッドフォンを使って音声を聞きながら、各自が音読練習をする。スピードの調整はできないが、重点的に練習したいところを自分のペースで練習することができるため、生徒には好評である。



苦手箇所を何度も聞き返しながら練習ができる。

実践事例に関して

1人1台端末の活用については、主に二つのアプローチが考えられます。一つは、「従来やっていた活動の方法をコンピュータに置き換えること」。もう一つは、「コンピュータでできることから活動を考えること」です。事例1・2・4は、どちらかといえば、前者の事例だといえます。事例3は、Googleフォームという便利なアプリを利用することで分析まで一瞬でできるという、付加価値のあるアプリ由来の後の活用例です。これらの事例から、ICTを活用した「個別最適な学び」や「協働的な学び」が実像となって見えてくるような気がします。

〈実践事例提供〉

- 事例1・2 なが いつみ
弘前市立津軽中学校教諭 永井 愛
- 事例3・4 とのさき そう
弘前市立東中学校教諭 外崎 聡

授業と家庭学習のつながりについて

本市では、まだ端末の持ち帰りは認められていませんが(令和4年3月現在)、いずれ可能になるでしょう。そうすると根本的に変わるのが、授業と家庭学習のすみ分けです。学校でなければできなかった活動が、家でもできることが多くなります。例えば、「Unit本文の動画を2回見ってくる」という課題を出せば「反転授業」のようなことができるでしょう。他にも、「新出単語を読めるようにする」「ベストな本文音読を録音してくる」といった音声面での宿題も考えられます。一分一秒でも多く英語に触れさせたいという英語教員の願いをかなえてくれる、夢のような学びです。

1人1台端末の活用に向けて

勤務校の授業を見て歩くと、生徒が机の上で端末を開いている授業が多くなってきました。英語の研究授業では、使用予定がないにもかかわらず生徒たちが端末を用意してしまっていたことがありました。慌てる教師を尻目に、生徒たちは、英作文の場面でスペルチェックのために端末を活用し、なかには翻訳機能を使う強者もいました。子どもたちのICTリテラシーは、私たちの予想をはるかに凌駕しています。

もちろんICT機器は「ツール」であり、その活用は「手段」にすぎず、「目的」ではありません。ただ、とにかく使ってみないと「手段」にさえならず、ホコリをかぶることになります。まずは使うことを「目的」に。これが我が校での合い言葉です。これまでの教育実践の蓄積とICTのベストミックスのためには、まずICTの比重を増やすことです。